



# 青柳小学校だより

【笑顔で登校 明日を楽しみに下校する 青柳小】

<笑顔が一番> 令和7年5月1日 第2号

草加市立青柳小学校 電話 048(931)0899

学校教育目標  
あー明るく元気な子  
おー思いやりのある子  
やーやりとげる子  
ぎーきたえる子

児童数 351名



## 校章に秘められた願い(正しく判断する力を身につけましょう)

校長 須賀 由美

新緑が鮮やかな季節となりました。入学した1年生もすっかり学校生活に慣れ、朝から自分の支度をせさせと頑張る姿に成長を感じます。中には、毎日お手伝いに来てくれる6年生の姿をまねて、自分からお友達のお手伝いをする子もいます。今日は、1年生を迎える会がありました。会場である体育館に入ると、どの子も、ワクワク・ニコニコが止まりません。本日の主役である1年生を喜ばせようと、2年生から6年生のお兄さん・お姉さんたちは、短い準備期間の中でプレゼントやクイズなど、様々な工夫をしていました。本番では、1年生の思い出に残る楽しい時間にする事ができました。主役の1年生だけでなく、どの学年も笑顔いっぱいになりました。今月も子どもたちの可能性と成長を信じ、たくさんの笑顔の花を咲かせていきたいと思ひます。

さて、ITをはじめとする昨今の目まぐるしい進歩により、現代ではパソコンや携帯電話からも簡単に必要な情報が瞬時に手に入るようになりました。この現代における1日の情報量は、江戸時代の1年分、平安時代の一生分に相当すると言われてひます。そのような膨大な情報量の中には、信ぴょう性のない情報が、あたかも正しい情報のように発信されていることも多々あります。子どもたちには、膨大な情報量の中から、正しく判断し、適切に選択する力を、発達段階に應じて身に付けさせたいと思ひてひます。この「正しく判断する力」というと、私にとって真っ先に思ひ浮かべるのは、一昨年度『学びの会』での高橋先生のお話です。高橋先生は、本校の校章のデザインをされた方です。高橋先生からは『学びの会』において、校章のデザイン作成に込められた思ひについてお話をいただきました。(R5.10.30実施)

本校の校章には「錯視(視力に対する鏡・形・長さ・色・方向などある条件や要のため実際とは違った物として知覚されること)の効果」を用いてデザイン化されています。どんな時でも、自分の目で、自分の耳で、自分の足で、正しいかどうかを判断する子になってほしいという思ひを込めて作られていると『学びの会』の中でお話がありました。正に、今のやぎっ子たちに身に付けさせたい力です。子どもたちには毎朝身に付ける名札に印された校章に、この温かい思ひと願ひがあることを忘れることなく生活させたいと思ひます。また、是非とも、保護者・地域の皆様ともこの考えを共有し、主役の子どもたちの確かな成長を見守っていただきたいと思ひます。

来たる5月4日は、本校の44回の開校記念日です。本校の誕生をお祝ひしつつ、ご家庭でも正しい判断、正しい選択ができるよう我が子の成長を応援してください。そのためには、まず子どもたち自身が、自ら考え、自ら発信することが大切です。今日は、どんなことがあったのか、そして自分はどう感じたのかなど、親子の会話の時間を大切にしてください。「そうだね」「それはいいね」こんな一言、または笑顔でうなずくだけでも、「これでよかったな」と我が子は正しい選択に自信がつきます。

今月もどうぞよろしくお願ひいたします。